



地域と生きる

おなが病院・おかがき病院だより

おなが病院に“がんケアセンター”がオープンしました



がんケアセンター長
とう や す し
藤 也寸志

おなが病院“がんケアセンター”の開設にあたり、令和6年4月より着任しました藤 也寸志 です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私は、1997年に福岡市の国立病院機構九州がんセンターに赴任し、外科を中心として消化器がん(特に、食道がん)の診療に携わってきました。同時に、厚生労働省のがん診療提供体制のあり方やがん診療連携拠点病院等の指定などに係るがん対策関連の仕事もしながら、2015年からは院長となり、病院管理者として9年間勤めて、令和6年3月末をもって定年退職しました。

日本のがん医療政策で、全国に国指定されているがん診療連携拠点病院の多くは都市部に集中しており、この遠賀中間地区にはありません。一方、超高齢化が加速している現在、高齢者に多いがん患者さんも当面は増加を続けます。このことは、遠方の病院への受診が困難でがん診療連携拠点病院等の専門病院に辿り着けない高齢がん患者さん、そして、専門病院で治療を受けても、その後の通院や体調管理が難しい高齢がん患者さんの増加に繋がります。

そこで、おなが病院では、地域に密着したがん医療を提供できる“がんケアセンター”を開設しました。ここでは、次のような患者さんの診療を考えています。

- がんが疑われる患者さん、または確定診断が得られた患者さん
 - 早急に全身精査を行い、確定診断や進行度の確定に努めます。
 - おなが病院で治療が可能な患者さんの場合、お待たせすることなく早急に治療を開始します。おなが病院での治療が難しい患者さんの場合、患者さんやご家族の希望をお聞きしながら、迅速に、信頼できるがん診療連携拠点病院などに紹介します。
- がんの治療中または治療後の患者さん
 - がん治療の影響によって、地域のかかりつけ医での体調管理が難しくなった患者さんの場合、当院での外来または入院によって体調の回復や維持向上を目指します。
 - がん根治手術後の患者さんの場合、地域のかかりつけ医との通常診療と協働して、再発の定期的な経過観察を行い、再発の早期発見・早期治療に繋がります。
 - ・特に、がん診療連携拠点病院など遠方の専門病院への通院が困難な高齢のがん患者さん
 - ・高齢者に限らず、専門病院での経過観察が終了したがん患者さん
(それ以後の再発や新たながんの発症のチェックもしていきます)
- 緩和ケア中のがん患者さん
 - 疼痛コントロールや全身状態の緩和を図ります。

外 来 診 療 日	月曜 ・ 水曜 ・ 金曜 午前中
予 約	おなが病院 地域医療連携室 Tel 093-281-3850
U R L	https://www.onga-hp.jp/medical/

おんが病院 新任医師紹介



放射線科部長
かめいりょうたろう
亀井僚太郎

4月よりおんが病院放射線科部長として着任いたしました、亀井僚太郎(かめいりょうたろう)と申します。九州大学を2008年に卒業し、これまでに九州大学病院、浜の町病院、国立国際医療研究センター、九州医療センター等で勤務し、MRI装置を用いた研究、頭部画像診断、腹部カテーテル治療などを主に行ってきました。当院では画像診断全般を担当しております。当科ではX線装置(マンモグラフィ・透視含む)のほかCT装置・MRI装置各一台が稼働しており、皆様からのご紹介、ご依頼に対応しております。迅速丁寧なレポートを心がけております。検査法や画像についての疑問点、ご相談がございましたら、お気軽にお問い合わせください。何卒よろしくお願い申し上げます。



消化器外科部長
まつもと よしひろ
松本 佳大

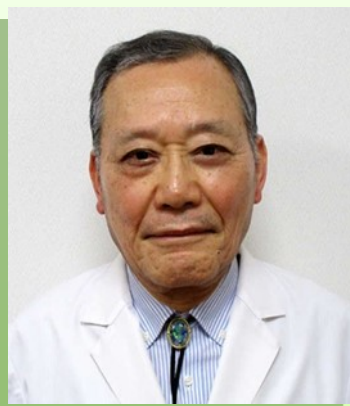
2024年4月より外科に勤務となりました松本 佳大(まつもと よしひろ)と申します。九州大学を卒業後、研修医を経て、福岡市民病院、大分県立病院、九州大学病院別府病院、九州がんセンターで肝胆膵領域を中心に消化器癌手術、ヘルニア・胆石などの良性疾患の手術に携わってきました。今年3月までアメリカBrown大学に3年間留学し、がん免疫療法に関する研究を行っていました。研究のみならず、日常生活においても視野が広がる良い経験をいたしました。常日頃から優しく、病院では安全な医療の提供を心がけています。おんが病院外科チームの一員として地域の皆さまのお役に立てるように頑張っており、お困りのことがあれば気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。



ふるや たけひろ
古谷 武大

2024年4月より整形外科に勤務となりました古谷 武大(ふるや たけひろ)と申します。
平成31年に愛媛大学を卒業後、北九州の九州労災病院で初期研修を行い、九州大学整形外科に入局しました。
JCHO九州病院、飯塚病院、福岡県こども療育センター新光園、九州大学病院での勤務を経て当院へ赴任いたしました。
診療では患者さんに触れて身体診察を行い、症状の訴えに耳を傾けることを心がけています。
大腿骨近位部骨折や椎体骨折など外傷症例を中心に担当させていただきますが、骨粗鬆症治療についても積極的に行いたいと考えています。周辺のかかりつけ医の皆様との連携が必要になることと存じます。
地域の中での当院の役割を理解し、少しでもお役に立てるように努めてまいります。
よろしくお願いいたします。

お か が き 病 院 新 任 医 師 紹 介



き ど まさみつ
城戸 優光

私は 1968 年に九州大学医学部を卒業、13 年間主に呼吸器の臨床と生理の研究を行い、1981 年産業医科大学に赴任、じん肺や喘息、COPD、肺癌など職業・環境関連肺疾患の研究と診療を行い、呼吸器内科の講座への昇格を果たし、2009 年に定年退職しました。その後新小倉病院の呼吸器センターで 4 年、光洋会赤間病院で 10 年院長を務めさせて頂いた後、1 年足らず宗像水光会総合病院内科で急性期医療の経験をさせて頂きました。

当院では内科および認知症の患者さんのための精神科の外来と入院診療を担当しています。生活習慣や老化、社会環境の変化と、種々の病態が絡み合い、治療もケアも複雑になっています。一人一人の患者さんの疾病の成り立ちを調べ、治療やケアの道筋をつけることは容易ではありませんが、スタッフの皆さんと協力しながら診療することに喜びを感じています。自分の出来る範囲で少しでもお役に立てればと思っています。よろしくお願いします。

《 2024 年度診療報酬改定について 》

2024 年度の診療報酬改定は 6 月 1 日施行となりました。当院を受診される患者さんに影響する項目の一部をお知らせします。

- ① 令和 6 年 12 月 2 日から現行の健康保険証発行が終了することを踏まえ、保険医療機関・薬局におけるオンライン資格確認等システムの導入が原則義務化されています。
- 当院はマイナ保険証による受付（マイナンバーカードを健康保険証として使用）の場合、オンライン資格確認により取得した診療情報・薬剤情報を実際に診療に活用可能な体制を有しています。
- また、質の高い医療を提供するためマイナ保険証利用により得られる薬剤情報等を診察室等でも活用できる体制を構築するために電子処方箋及び電子カルテ情報共有サービスの導入に向けて取り組んでいます。

当院は診療情報を取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。
正確な情報を取得・活用するため、**マイナ保険証の利用にご協力をお願いいたします。**

- ② 外来診療では、特定疾患療養管理料の対象疾患から**脂質異常症・高血圧症・糖尿病**が除外され、これらの生活習慣病に対する医学管理料が生活習慣病管理料（Ⅰ）（Ⅱ）に変更となります。生活習慣病管理料（Ⅱ）は、特定疾患療養管理料による上記 3 疾患に対する従前の評価に代替するものとして新設されました。
- また、特定疾患療養管理料の対象疾患として「**アナフィラキシー**」「**ギラン・バレー症候群**」が新たに追加されました。
- 当院では、6 月より**脂質異常症・高血圧症・糖尿病**の効率的な疾病管理及び重症化予防に療養計画書を用いた生活習慣病の管理を実施する予定です。



- ③ 当院は在宅療養支援病院及び地域包括ケア病棟を有する病院です。
- 医療と介護の連携について、在宅医療を担う地域の医療機関と介護保険施設等が平時からの連携体制を構築し、介護保険施設等の求めに応じて協力医療機関を担うことが望ましいとされました。
- 協力医療機関は、介護保険施設等の入所者の緊急時の連携体制及び入院受入体制等を確保していることが必要です。医師は、往診や診療を患者さんに関する診療情報及び病状の急変時の対応方針等を踏まえて行い、治療方針について患者さん・ご家族等に十分に説明します。また、診療後に入院の必要性を判断し、入院させた場合の病床（ベッド）を確保しています。

おかがき病院 訪問診療部のご案内

～安心してご自宅や施設で診療が受けられます～

在宅医療（訪問診療）は、具合が悪くなった時だけ医師が診療に訪問するのではなく、お一人で通院が困難な患者さまの自宅や施設に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に医療サービスを提供するものです。

日常的な診療や治療、健康管理で体調の悪化を未然に防ぐ役割ももっています。

診療部の取り組み

- ・通院が困難な患者様への「かかりつけ医」として定期的に訪問診療を行います。
- ・終末期医療（ターミナルケア）、看取りについても積極的に受け、対応します。
- ・緊急時に「24 時間 365 日」対応が可能です。
- ・緊急時にはおんが病院、おかがき病院との連携を主にサポートいたします。
- ・訪問看護ステーションとの連携体制を図り、充実した医療を提供します。

診療の対象となる方

- ・お一人で通院するのが難しい方
- ・ご家族の介護で手が離せない方
- ・高齢で定期的な健康管理が必要な方
- ・認知症や寝たきりの方
- ・介護サービスを受けている方
- ・パーキンソン病などの難病の方
- ・経管栄養・カテーテル類・人工呼吸器の管理が必要な方
- ・癌の治療が終了し、最期まで自宅で過ごしたい方



具体的な診療・処置内容

- ・診察、血圧測定、体温測定などの健康チェック
- ・経尿道カテーテル、各種ストーマの管理
- ・床ずれの処置
- ・採血、検尿などの検査
- ・療養上の相談、指導
- ・点滴、投薬、麻薬などの治療
- ・輸血や腹水、胸水ドレナージなどの医療処置
- ・酸素療法、経管栄養法など

おかがき病院地域医療連携室に問い合わせ下さい。

TEL：093-282-0181（代表電話）

その後、訪問診療部の看護師より連絡をさせていただきます。

ご都合を伺って医師が訪問する日を決めます。



発行日：令和6年6月吉日

発行：遠賀中間医師会おんが病院・おかがき病院

編集：おんが病院・おかがき病院広報委員会